

「神は心を備えられる」

神様は天地宇宙の創造者であり、どのような被造物も思い通りに造ることができる方です。聖書には神様が介入され、自然の秩序を超える奇跡を起こされた記述も多く記されています。

しかし一人の人を主のしもべに育てることにおいては、神様は決して理不尽に人の心を変えようとはされず、時間をかけ、様々な出来事によって心を育てられます。主のしもべが変えられ、全てにおいて整えられ、備えられるのを神様は待って下さるのです。

アブラハムの信仰を育てるために、約束の子イサクが生まれるのに100年待たれた神様は、イスラエルの民をカナン地へ大移動させるため、モーセに80年の時を備えられたのです。

聖書の学び

I、エジプトにおける教育

1、イスラエル人としての教育

①実の両親による教育（出エジプト2：9～10）

- ・モーセはいつごろまで、実の両親のところで育てられたのでしょうか。

（出エジプト2：10）

- ・モーセの実の両親はどのような信仰の人たちだったのでしょうか。（ヘブル11：23）

②自分がモーセの実の両親だったら、モーセに最も教えたいことは何でしょうか、各々思い浮かべてみましょう。（ヘブル11：24、25、箴言22：6）

2、エジプトの最先端の教育

①モーセはエジプトの宮廷において、どのように成長したのでしょうか。

（使徒7：22）

②エジプト王一族としての学びは、何に役立ったと思いますか？

3、成人したモーセが考えたことは、どのような事だったのでしょうか。

(ヘブル11：24～26)

①40歳になるまで、彼は黙って選択を伸ばしていた。(使徒7：23)

- ・このままでいれば、エジプトの宮廷での将来は栄誉栄華である。
- ・自分の出身のイスラエル人の苦しみ、奴隷にされている現実を変えたい。

②岐路に立たされたとき、彼が選択したのは、どちらだったのでしょうか？

(ヘブル11：24～26)

Ⅱ、ミデヤンにおける教育

1、エジプトの圧政から民を守ろうとしたモーセでしたが、上手く行きませんでした。どうしてなのでしょう？

①モーセは自分の正義心、力によって、イスラエル人を救えると思いました。
しかし、結果はどうでしたか。(出エジプト2：11～15)

- ・殺人を犯す。
- ・イスラエル人に認められない。
- ・ファラオを恐れる。

②神様の働きをするためには、人間の肉の力はありません。
自分の力に頼るモーセは、神に頼る者に変えられる必要がありました。

(出エジプト2：15)

2、エジプトを追われた逃亡者のモーセは、ミデヤンの大自然に埋没しながら、何を学んだのでしょうか。

*「この世の教育は人を偉大にする。しかし、神の教育は人を空しくする。

神は、空しくない器を用いることはおできにならない」(沢村五郎師)

まとめ

神様は私たちが空しくなり、主に頼る者になるのを待っておられます。